

旅立ち

大切な第一歩と共に



© MINAKO NOMOTO 2024

全国的な気象変動の今夏

暑い日が続きますが、お身体おかわりなくお過ごしでしょうか。

大空を見上げると、雲の輪郭が濃くなってきています。

猛暑を過ぎてもしっかりと勉学に励むと共に健康管理を行い
志の実現に向けてお進みください。

2024年9月吉日

代表理事 黒澤 厚

地域復興支援事業

【第7回セミナー実施】

過去6回は福島県伊達市でお菓子作りセミナーを開催致しましたが、今回は、石川県金沢市のくろさわ文庫どんぐり倶楽部で「地域の民話や紙芝居の読み聞かせ」と、伝統工芸体験として「加賀友禅の体験教室」を2024年3月20日に実施いたしました。

3歳から中学校1年生までの地元の子供たちとご家族、計44名の方がご参加。読み聞かせは金沢に伝わる民話で大人にも興味深いお話でした。加賀友禅の体験教室には加賀友禅伝統工芸士の講師をお招きし、各自ハンカチに町家をイメージしたイラストを色付けし乾燥させてから、水に浸して糊を外し、再度乾燥させて完成させる一連の工程を体験していただきました。町家の雰囲気を感じながら親子で伝統工芸の文化に触れられたと、ご参加頂きました方々から好評のコメントを頂戴することができました。

第8回セミナーも8月に金沢で実施いたしましたので、次号で詳しくご報告させていただきます。

【参加者様からのコメント】

- 子供のいい思い出になりそうです。とてもありがたいです。工芸の発展に何らかの形で寄与できる人になってくれると嬉しいです。
- 親子で体験できてとてもいい時間でした。
- 加賀友禅染体験が楽しかったです。貴重な体験をさせていただきました。
- とても楽しく参加させて頂きました。また絵本を読みに訪ねますね。
- 町家に子供と行くことがあまりなかったので、とても良い機会となりました。加賀友禅の体験はとても楽しかったです。ありがとうございました。
- とても素敵な空間で素敵なイベントでした。ありがとうございました。



紙芝居



読み聞かせ



加賀友禅染物体験



ハンカチに色付け



乾燥をしてる間に絵本を読みました

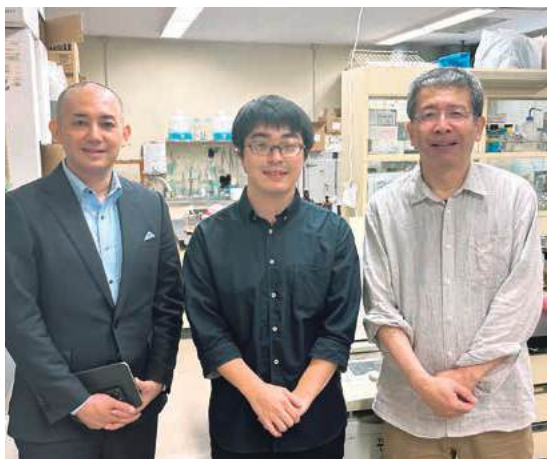


ハンカチの完成

奨学生訪問第一弾(2024年)

第7期奨学生訪問の様子をご紹介します。

次号以降、北海道・宮城・福島・山形の奨学生訪問状況をご報告します。



長谷川 響 様(中)

岩手大学大学院総合科学研究農学専攻応用化学生物コース

山下 哲郎 様(右) [岩手大学農学部応用生物化学科博士]

ジェネリック医薬品の製薬会社に内定。

網膜疾患の研究をしており、今までの研究成果を生かし、網膜に限らず医薬品全般の品質管理に携わり、ジェネリック開発という側面から、より安価で安心した薬を開発することで、患者の金銭的・身体的負担を軽減したい。

実際に網膜疾患の患者との接点を持ち、対話を通じて安価で高品質な薬の必要性を再確認した。



宮川 結生 様(中)

福島大学人文社会学群行政政策学類

今は、文化比較、民法や憲法といった法学分野、英語を中心とした語学を学んでいる。ゼミ活動では、移民が増える中で、「地域の安全・安心を守るにはどうしたら良いか」について、防犯面に着眼して研究している。

今後は、文化に着目し、国ごとの多様な文化や生活習慣を比較し、異文化理解に繋がる取組について研究していきたいと考えている。語学留学や継続的な英語学習を通じて、語学力の向上を図り、将来は英語力を活かして、日本と他国を繋げるような仕事で活躍出来る人材になれるように努めていく。



高橋 祐斗 様(中)

秋田大学大学院理工学研究科総合理工学専攻博士後期課程

悪性リンパ腫や多発性骨髄腫といった造血器腫瘍の研究を行っている。不治の病であった骨髄腫は、新薬の開発により治療ができる時代になっている。

また「仮説」通りに行かない方が圧倒的に多いが、自らが作った「仮説」通りに、実験・研究結果が出た時は本当にやりがいを感じる。

将来は、創薬事業、抗がん剤を開発する製薬会社の研究職として従事し経験を積んだのちに、研究室を主宰するような立場になることも選択肢として考えている。



工藤 瑞姫 様(中)

国際教養大学国際教養学部国際教養学科

林 政邦 様(中央右) [学生課長]

田岡 史枝 様(左) [学生課学生支援チーム]

今年8月からはシンガポールのナンヤン工科大学への留学を予定。昨年12月には、仙台市主催の海外研修プログラムで、東北代表として、シリコンバレー・ボストンの短期研修に参加した。スタートアップ企業をファイナンスの面で支えるベンチャーキャピタルの仕事に関心を持っている。

今後、都市部はもちろん、海外の大学院も視野に入れて将来を考えていきたい。



渋谷 未璃亜 様(中央左)

国際教養大学国際教養学部国際教養学科グローバル・コネクティビティ領域

当初「伝統色」に関心をもっていて、秋田で美術館の学芸員になるという明確なゴールがあったが、本学に来ている多種多様、グローバルな仲間と話しをしている中で、「秋田には四季の香りが無い」という声を聴き、「香り」というテーマに、関心を持つようになった。

今後は「香料」に係わる企業で、「香料」という門戸を広げる、日本にある素晴らしい「香り」を伝えていくという仕事に就いていきたい。

今年秋には、再び台湾の大学に学期留学する予定。

卒業後には、秋田から離れ、一度は外の世界も見て見聞を広げたい。

「広場」 奨学生／指導教諭／OB／OG 近況報告

【第11回】

新たにクロサワ育成財団に深く関わりのある方のコラムをご紹介します場を設けました。

【第1回】

クロサワ育成財団 理事 仁志田 昇司 様

「奨学生への期待」

60数年前、大学入学後クラブで一緒になった友人が、奨学金とアルバイトで仕送りも受けず学生生活を送っている事を知った。私はといえば、実家から仕送りを受ける身で、彼に申し訳ないような気持ちが芽生えた。その彼とは一緒に合宿に行ったり旅行をしたり共に学生生活を楽しんだが、旅行などの費用は私もアルバイトで賄ったので互いに遠慮する様なことは無かった。しかし、どこかで彼以上に真面目にやらなくてはと思う気持ちは消えなかった。

現在、図らずも「給付型奨学金制度」を運営する本財団の理事となり、奨学生との面談の報告を受けたが、「返す必要のない奨学金は有難い。勉強や研究に打ち込めるし、何より私に期待し支援してくれる人がいる事が感激で、一生懸命やらなくては、と思う」との声があったとの事。世に「貸付型の奨学金」は多いが、本財団理事長肝いりの「給付型奨学金」の意義を、改めて噛みしめている。



財団からのお知らせ

【第8期奨学生(2024年度)募集のお知らせ】

自分の夢を将来につなげる人材の育成を目的とし、今年度も奨学生の募集を開始いたしました。申込期間は2024年7月1日から9月30日迄です(消印有効)。詳細に関しましては当財団HPをご覧ください。

美しい言葉

No. 11

月到天心

つきてんしんにいたる 北宋・邵雍(月到天心處 風來水面時)

通解

月が、空の真中に昇りました。自然が最も清らかな美しさを見せるのはこの時です。
清々しく晴れた秋の夜に、この美しい情景を心してみている人は何人いるでしょうか。

公益財団法人 クロサワ育成財団 事務局／丹治・田村

〒104-0045 東京都中央区築地6-25-10 築地センタービル4階

TEL: 03-6281-5140 FAX: 03-6281-5141 URL: <https://www.kurosawfound.or.jp/>

月曜～金曜 午前9時～午後6時 ※年末・年始、祝日、当財団休日を除く

